EdTechZine

媒体資料

2019年4月-6月

SHOEISHA

株式会社翔泳社
メディア事業部　広告課
Tel:03-5362-3844

創刊の辞

「EdTechZine（エドテックジン）」は、学びたい、教えたいという意欲を持つ
すべての方に向けた教育ICT（EdTech）のオンラインメディアです。

ICT（情報通信技術）やインターネットの発展により、人々は欲しい情報やデータを、
いつでもどこでも安価に入手できるようになりました。今後はそれらの膨大な情報から、
いかに有益な知識を得て、高い付加価値を生み出していくかが求められつつあります。

簡単に得られる知識はコモディティ化して価値が低下するため、表層的な理解ではなく、
具体的な課題の解決や、人と人との対話によって学びを深める必要があります。
世の中の変化の速度が激しく、「AIが人の仕事を奪う」「人生100年時代」と取沙汰される
昨今においては、人生を通じて「学び続ける」ことの重要性も
一層高まっていると言えるでしょう。

一方でICTの利活用により、人々の「学び」自体のイノベーションも加速するに
違いありません。EdTechZineでは、そのような学びのサポートや実践を行っている方々の
知見を共有することで、読者の皆さまが「自分らしく、主体的に社会に関わり、
充実した人生を送る」手助けができれば、と考えています。

EdTechZine編集長　斉木 崇

媒体データ（2019年2月現在）
- ●会員数：約7,100
- ●メルマガ配信数：約5,700名
- ●月間PV：約133,000
- ●月間UU：約60,000

最新コンテンツ例

キーパーソンインタビュー

年額492円でCreative Cloudが使える！ 破格の学校向けライセンスを提供したアドビの展望とは

印刷用を表示　ツイート 181　シェア 320　B! 2　Pocket 45

相川 いずみ[著]　2018/09/19 14:00

企業の求める人材が変わってきている今、その前段階にある教育の現場はどう変わっていけばよいのか。クリエイティブソフトウェアAdobe Creative Cloudを提供するアドビは、今年6月に、小中高の学校向けユーザー指定ライセンスを年額492円という破格の金額で提供することを発表した。教育の現場に、アドビはどのように関わっていくのか。同社のマーケティング本部副社長の秋田夏実氏に、詳しく話をうかがった。

【インタビュー】
クリエイティビティ×学校

EdTechビジョナリーインタビュー

すべての子どもに最適な学びを届けるために――個別指導進学塾メイツ代表・遠藤尚範氏が語るICTへの期待と続ける決意

EdTechビジョナリーインタビュー 第7回

アダプティブラーニング　教育アプリ　業界動向

印刷用を表示　ツイート　シェア　B! 0　Pocket 0

伊藤 真美[著] / 斉木 崇（編集部）[聞]　2019/03/29 07:00

生徒一人ひとりに合った学び方やレベルに応じた指導を行うという個別指導塾が人気だ。その中でも、タブレット指導によるアダプティブラーニングを積極的に導入し、大きく成果を上げているとして注目を集めているのが個別指導 進学塾メイツだ。そこで培われたメソッドや教材はアプリ「atom」として2015年■月より、他の事業者にも展開されている。あえてノウハウの塊とも言えるアプリを提供するのは、どのような意図があるのか、また今後はどのような展開を目指しているのか。株式会社メイツ 代

【インタビュー】
ICT×塾

PR 教育現場でのICT活用事例紹介

プログラミングスキル判定サービス「TOPSIC」を通じてアルゴリズムを学ぶ～立教池袋中学校・高等学校 数理研究部の挑戦

プログラミング教育

印刷用を表示　ツイート 19　シェア 240　B! 0　Pocket 5

相川 いずみ[著] / 斉木 崇（編集部）[聞] / 小倉 亜沙子[写]　2018/08/27 14:00

プログラミングにおいて重要になってくるのが問題解決の手順

プログラミングコンテストで数々の実績をもつ同校がなぜTOPSICを始めるに至ったのか。その背景からアルゴリズムの重要性まで、数理研究部顧問の内田芳宏教諭、TOPSICを運営するシステムインテグレータ代表取締役社長の梅田弘之氏、TOPSICの問題作成を手掛けるAtCoder代表取締役社長の高橋直大氏に話を伺った。

左からシステムインテグレータ梅田弘之氏、立教池袋中学校・高等学校 内田芳宏教諭、AtCoder高橋直大氏

【導入事例】
プログラミング思考×部活

注目コンテンツ例

イベントレポート（プログラミング教育）

プログラミング教育なんてやっている場合ではない――高校までに必要な本当の学力

New Education Expo 2017イベントレポート

プログラミング教育　イベントレポート

印刷用を表示

ツイート 307　シェア 5,128　B! 88　Pocket 177

中尾 真二[著]　2017/07/18 14:00

6月1日、New Education Expo 2017において、国立情報学研究所社会共有知センター長 新井紀子氏によるセミナーが行われた。新井氏は「東ロボくん」のプロジェクトでAIを東大に合格させる研究のプロジェクトリーダーを務めていた。その研究結果から、AIとの共存が避けられない時代に本当に必要な能力はなんなのか、特に中高生など若い世代に足らないのはどんなスキルなのかを語ってくれた。

近年、21世紀型スキルとして、コミュニケーションスキル、問題解決能力などを伸ばすため、アクティブラーニングや反転学習、初等教育での英語必須化、プログラミング教育といった手法が注目されている。しかし、新井氏はこれからの時代、本当に必要なのはこれら表面的な知識やスキルではないという。

★2017年7月18日公開
『プログラミング教育なんてやっている場合ではない
――高校までに必要な本当の学力
New Education Expo 2017イベントレポート』

プログラミング教育を否定するのではなく、そもそもこれからを生きる子どもたちに必要なスキルを提起した記事で、多くの先生方、および教育業界関係者や保護者の方々に読んでいただけました！

本記事のPVは、50,000を超え、Facebookでも5,000以上シェアされました。これからもイベントレポートを含め、独自のコンテンツをどんどん発信していきたいと思っております。

★2018年6月22日～コーナー開始
『EdTechビジョナリーインタビュー』

これからのEdTech業界をけん引する方にインタビューするコーナーです（取材時点での役職です）。

第一回　株式会社花まるラボ 代表取締役 川島慶氏
第二回　株式会社Digika 代表取締役社長 橋本恭伸氏
第三回　アルクテラス株式会社 代表取締役社長 新井豪一郎氏
第四回　Classi株式会社 代表取締役副社長 加藤理啓氏
第五回　株式会社マナボ 代表取締役社長 三橋克仁氏

◆18年度良く読まれたコンテンツ

日本教育にイノベーションを ～AI時代に本当に必要な教育とは～

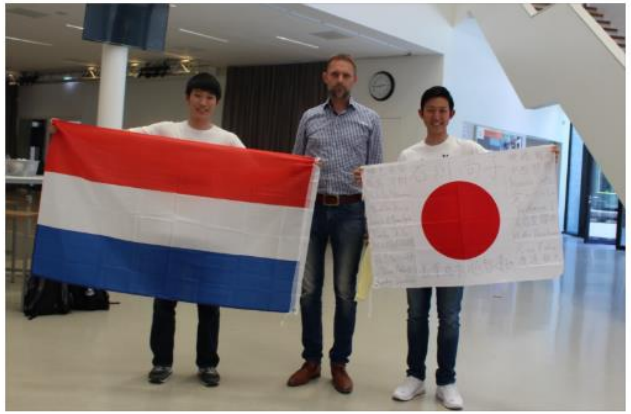
学びの質とレベルの差に驚愕!? オランダのコーチング型教育（中高一貫校編）――"正解のない問い"の実践

日本教育にイノベーションを ～AI時代に本当に必要な教育とは～ 第3回

アクティブラーニング　海外事例

［事例］
海外×コーチング教育

本連載では、教員を目指す大学生の2人が感じた「画一的な内容を一斉授業で教える」旧来の公教育に対する疑問と、今後求められる「学びの大転換」の参考として、日本の教育の形が当たり前ではない世界各国の教育トレンドを実地調査した内容をお伝えしていきます。第3回では、オランダの中高一貫校を視察して得られた気づきをご紹介します。



ニュース

アシェット・コレクションズ・ジャパン、『週刊 学習ロボットをつくる』の先行予約受付を開始

STEAM教育

印刷用を表示　ツイート 7　シェア 43　B! 0　Pocket 0

EdTechZine編集部[著]　2018/08/27 16:27

アシェット・コレクションズ・ジャパンは、『週刊 学習ロボットをつくる』の先行予約受け付けを8月22日に開始した。書店での発売は8月29日。創刊号の特別価格は税別で176円。2号の税別価格は731円で、3号以降の税別価格は1287円。

［ニュース］
ロボット×教材

週刊 学習ロボットをつくる

『週刊 学習ロボットをつくる』は、毎号に付属するパーツを使ってロボットを組み立てるパートワークマガジン。組み立てるロボットには、カメラ、距離を感知するウルトラソニックセンサ、顔を識別するカラーセンサ、白黒センサ、モーターなど高性能な装備を搭載している。

これから始まるプログラミング教育に対して保護者ができること

どうしてプログラミング教育を小学校でやるの？――文科省の資料から読み解く実態

これから始まるプログラミング教育に対して保護者ができること 第1回

プログラミング教育

印刷用を表示　ツイート 1　シェア 45　B! 35　Pocket 37

阿部 崇[著]　2017/11/14 14:00

2020年から始まる「プログラミング教育」は、多くの保護者の不安要素になっているのではないでしょうか。ITにこれまで疎遠だった保護者の方々は、一体なんのために、何を教育しようと考えているのか不安でしょう。一方IT産業に関わっている保護者の方であれば、専門性のない教員に、まちがったことを教えてほしくないと不安に感じている方もいらっしゃるでしょう。この連載では、そもそも「プログラミング教育」はどのような背景から生まれ、何を目的としているのか、そして何を実施しようと考えているのか、まずこれらを理解しましょう。そのうえで、お子さまにどのように接し何を伝えていくべきか、そして保護者として何を学んでいくべきかを一緒に考えていきます。

プログラミング教育は「プログラミング言語の学習ではない」

［編集記事］
保護者×プログラミング教育

う。情報発信を行う教育機関は増えてまいりましたが、その実態は知られていないことが多く、ブラックボックス的なイメージがあります。

私がPTA会長になったことも一つの縁と考え、こういった状況の打破ができないかと考えています。よくいえば、保護者の方々と教育現場をつなぐ架け橋になれればいいなと。学校へのボランティアや、本連載のような情報発信などを行うことで、お互いの理解が深まっていくことを期待しています。

主催イベント

2017年6月11日（日）開催
『ルビィのぼうけん』で体験する小学校プログラミング教育
～EdTechZineオープン記念
第一部：親子向けワークショップ
第二部：教員向けセミナー

【第一部親子ワークショップ】
当日参加：親子29組、同伴5名

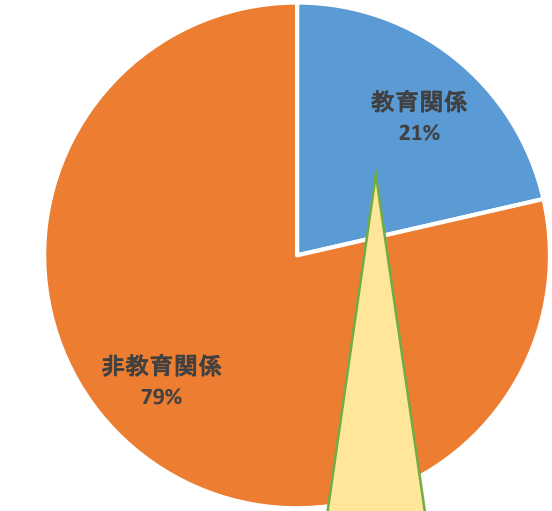
●受講者年齢　6歳：15名、7歳：9名、8歳：8名、9歳：1名
●男女比：男子15人、女子18人
●保護者職業：IT企業、小学校教員、医療関係、新聞社など

【第二部教員向けセミナー】
当日参加者：96名

●参加者属性
小学校教員、大学／高校教員、特別支援学校職員、教育委員会委員、進学塾など

読者属性：業種/教育関連内訳/都道府県別

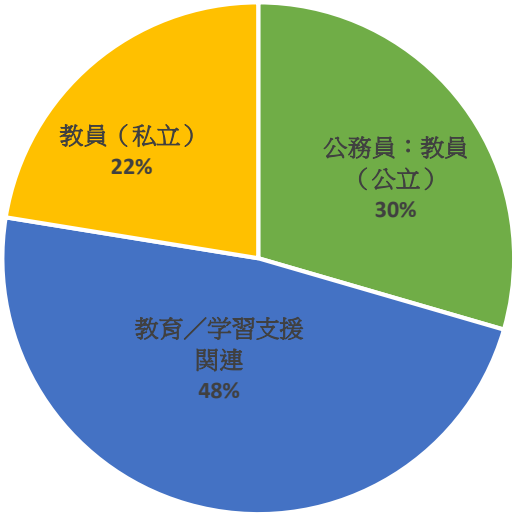
業種



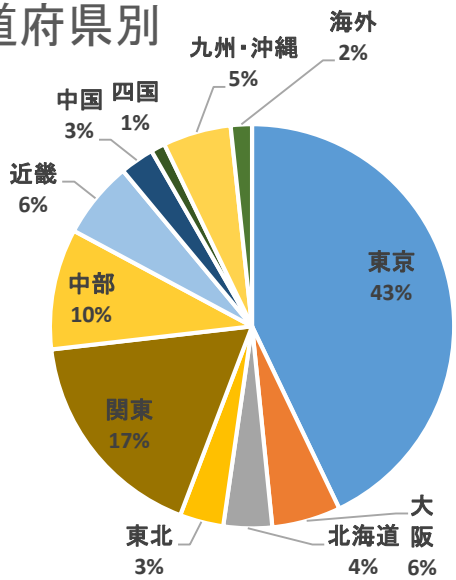
教育関係者が
20%以上

教育関係

教育関連　内訳



都道府県別

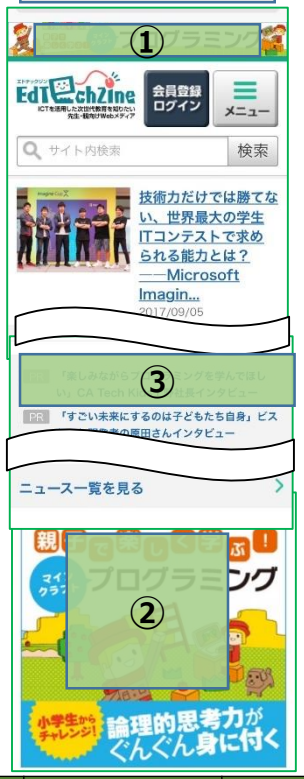


※2019年2月時点の会員情報

広告メニュー①　純広告/バナー・テキスト

PC

モバイル



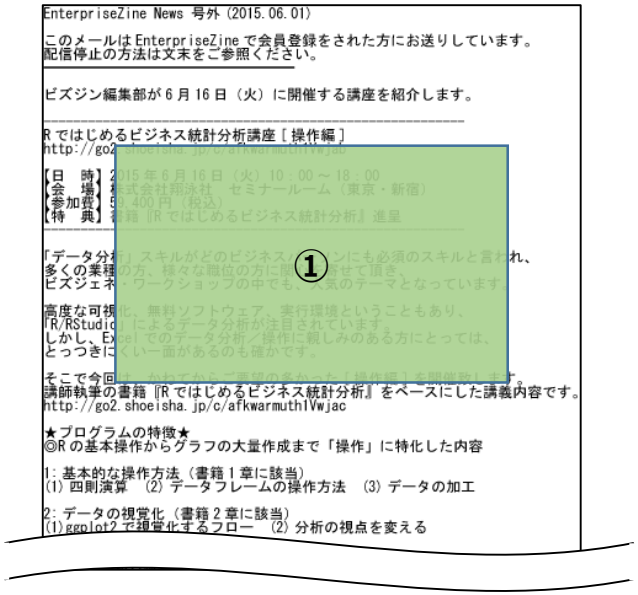
PC

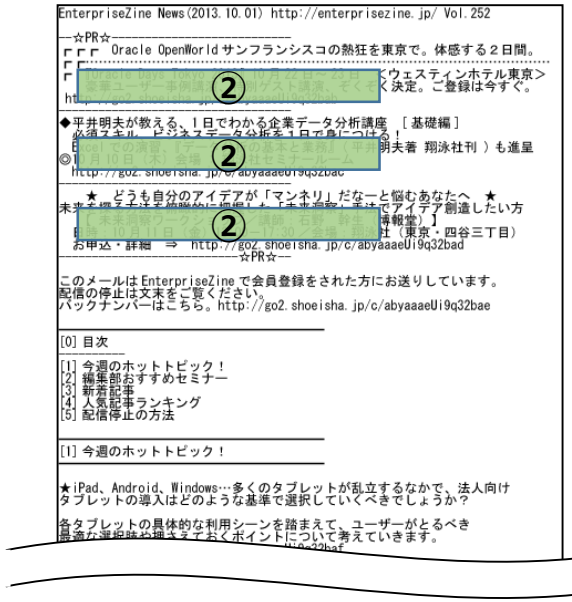
※1 配信ペースには偏りが生じる場合がございます
※2 デバイスへの振り分け配信は不可としております
※3 第三者配信をご希望の際は事前にご相談ください

【入稿先】翔泳社　広告課
ad_submit@shoeisha.co.jp

メニュー	価格(税抜)	想定imp	掲載期間	表示方法 ※1	掲載面 ※2	サイズ(W*H)	容量	ファイル形式※3	ループ	原稿差し替え	入稿締切
①スーパーバナー	¥200,000	40,000	1ヶ月	ローテーション	全ページ	728*90	100KB以下	GIF、jpg、第三者配信	3回まで	2回全3種、営業日のみ	5営業日前
②レクタングル	¥200,000	40,000	1ヶ月	ローテーション	全ページ	300*300	100KB以下	GIF、jpg、第三者配信	3回まで	2回全3種、営業日のみ	5営業日前
③アーティクルリンク	¥100,000	40,000	1ヶ月	ローテーション	全ページ	全角40文字以内	-	テキスト	-	2回全3種、営業日のみ	5営業日前
④記事下バナー	¥100,000	20,000	1ヶ月	ローテーション	全記事ページ(除・タイアップ)(PCのみ)	500*300	100KB以下	GIF、jpg、第三者配信	3回まで	2回全3種、営業日のみ	5営業日前

広告メニュー②　メール広告





【入稿先】翔泳社　広告課
ad_submit@shoeisha.co.jp

メニュー	価格（税抜）	配信数	配信日	文字数	掲載URL	入稿締切
①EdTechZine News 単独メール	¥100,000	5,700	平日任意	［件名］全角35文字以内 ［本文］全角37文字×100行以内	複数可	3営業日前
②EdTechZine News ヘッダ	¥50,000	5,700	第1・3金曜日	全角37文字以内×5行	1点	3営業日前

広告メニュー③　タイアップ記事

TOPページ

記事ページ

◎掲載までの流れ(例)
【お申し込み】
↓　……日程調整
【取材】
↓　……中7～10営業日
【初校提出】
↓　……中3営業日
【初校お戻し】
↓　……中2営業日
【再校提出】
↓　……中1営業日
【再校お戻し・校了】
↓　……中1営業日
【公開】

※上記は1例です
実際のお申し込みの際には
個別にスケジュールを
お出しします

メニュー	価格（税抜）	想定PV/imp	掲載期間	表示方法	文字数	掲載開始目安	原稿制作	その他導線
①タイアップ記事	¥700,000～ (＋遠方の場合は別途交通費)	1,000PV	1ヶ月	-	A4×1.5ページ相当	取材から1ヵ月	編集部	・編集部SNS（Twitter、Facebook） ・RSS ・アリーナ ・編集部メールマガジン「新着記事」欄 ※掲載時期、期間は 編集部に一任いただきます ②Special　Contents1か月分 ・FB広告（投稿を広告する）5万円分
②Special Contents	ー	40,000imp	1ヶ月	ローテーション	[テキスト]全角45文字 [画像]記事アイコン	記事公開日	編集部	-

※セミナー取材によるタイアップ記事についてのお願い…情報の鮮度を維持するため原則、取材から2か月以内の公開を目安とさせてください。

広告メニュー④　リード獲得システム

サイト内にホワイトペーパーを掲載し、ダウンロードユーザーのリード情報を取得できます。
単独メール等、誘導メニューと組み合わせてのご利用をおすすめしています。
※記事ページと同様の誘導枠（新着紹介、定期メールマガジン掲載など）はございません
※DL数は保証いたしかねます。あらかじめご了承ください。

公開ページ※イメージ

管理画面

価格（税抜）	1本目　　：¥80,000 2本目以降：¥50,000
掲載期間	1ヵ月
原稿規定	【タイトル】100文字以内 【本文】3,000～4,000文字程度 【掲載資料】PDF、pptx、zip形式、10MB以内
掲載可能な資料本数	1ページにつき1本 （zip内への複数ファイル格納は可）
情報閲覧	管理画面より随時ダウンロード可能
掲載開始日	任意の営業日
オプション：アンケート設置	
価格（税抜）	5問まで：¥150,000／10問まで：¥250,000
回答指定	必須／任意
回答形式	単一回答／複数回答／自由回答（1問につき1形式）

※取得情報は弊社会員サービス「SHOEISHA iD」の登録に準じます
……メールアドレス、氏名、会社名、部署、業種(選択式)、役職(選択式)、郵便番号、住所、電話番号、ダウンロード日時

◆初回ご利用限定　特別広告メニュー①

タイアップ記事プラン

・EdTechZineタイアップ記事※×1本　(3,000字～4,000字程度)

→ご提案金額：**30万円**（税別、ネット）

※取材から掲載までは約1か月頂いております。
　EdTechZineのタイアップ記事初めてご利用の企業様のみ適用させて頂きます。

記事ページ　例

◎掲載までの流れ(例)
【お申し込み】
↓　……日程調整
【取材】
↓　……中7～10営業日
【初校提出】
↓　……中3営業日
【初校お戻し】
↓　……中2営業日
【再校提出】
↓　……中1営業日
【再校お戻し・校了】
↓　……中1営業日
【公開】

※左記は1例です
　実際のお申し込みの際には
　個別にスケジュールを
　お出しします

◆初回ご利用限定　特別広告メニュー②

事例作成プラン

- SHOEISHA iD単独メール※1：教育／研究機関セグメントメール(約9,000通)×1本
- EdTechZine単独メール（5,700通程度）×1本
- EdTechZine取材記事※2×1本　(3,000字～4,000字程度)
- 取材記事二次使用料(Webもしくは紙にて1回ご使用いただけます)

→ご提案金額：**50万円**（税別、ネット）

※1.本来は、弊社全媒体の読者に49万人に送るメールメニューです。
※2.取材から掲載までは約1か月頂いております。

導線図

タイアップ記事×1本
想定PV1,000

・SHOEISHA iDメール：約9,000通×1本
・EdTechZineメール：約5,700通×1本

貴社サービスサイトなど

【記事二次利用】
・貴社Webへのコンテンツ転載
・展示会等で配布する資料
など

過去出稿実績一覧

EdTechZine

Adobe

時間を奪うのではなく、時間を与えるソフトウェアを創り続ける
System Integrator

JUST. SYSTEMS

Sony Global Education

ORACLE

Digital Knowledge DK Co.,Ltd

redhat.

TVO テレビ大阪エクスプロ